

自民党 千葉県第四選挙支部 支部長

木村てつや活動報告 Vol.132

未来創造、いま。

〒273-0011 船橋市湊町 1-2-21-201
TEL.047-433-3088 FAX.047-498-9155 E-mail info@tetsuya-kimura.com



家族の今と未来、
本気で考えましょう!

きむてつレポート①

子育て編



働くお母さんとの 意見交換会を開催

市議会や県議会の健康福祉委員会で、長く子育て支援に携わってきた木村てつや。保育の問題は、市や県だけでなく、国からの支援も必要だと強く感じています。今回伺った子育て世代の貴重な本音やご意見を国に届けます。

きむてつ目

エキナカ保育の提案以外に、送迎の利便性対策も検討課題です。
「駅から近い方が絶対に良い!」というご意見を予想していただきました。「距離より質」というご意見は参考になりました。船橋のエキナカ保育を提案しつつ、子どもが外で発散できる環境も整えたいです。お子さんを別々の保育園へ送迎しなくてはならない親御さんもいますので、保育園を増やすだけではなく、送迎バスの活用など、利便性を考えた拡充も必要だと思えました。

《ママたちの声》

- ◆電車通勤だったら助かります。園庭はなくても、公園とかに開放しに行ければいい。
- ◆子どもには、親から離れている時間を楽しんで過ごしてほしいので、距離より、園庭や遊具など質を優先してほしい。

Q.

松戸で始まるエキナカ保育。

船橋では **あり?** **なし?**

きむてつ目

男性の育児休業は取得すべき! 企業の理解を促すことが大事です。
女性の円滑な職場復帰には、男性の認識変化が必須。国から企業へ補助を出すなど、社員の出産を会社全体で喜べる支援制度整備を進めたいですね。私がその先頭を切っていければと思います。

《ママたちの声》

- ◆育児休業は取得してほしい。でも「取ったら椅子がなくなる」と言われてしまうと、怖くて絶対に取れない。
- ◆育児休業まで行かなくても、育児のために週1回くらい休みやすい環境があるといい。

Q.

男性の育児休業は

あり? **なし?**

きむてつ目

「子どもは宝」という気持ち大切に、仕事と子育ての両立を応援します。
1億総活躍社会では、女性の活躍が大前提。そして子どもは宝物です。子育てが負い目にならない社会づくりに貢献して、男性も女性も仕事と子育てを両立できる環境整備に全力を尽くします。

《ママたちの声》

- ◆「結婚して、子どもができたから辞めなさい」という気持ち。「子育て中は普通には働けないのが当たり前」という認識を会社全体で持つことが大事。
- ◆子どものために早速すると、周囲の評価が下がると思い苦しくなる。上司世代には、「昔はこうだった」と言うことなく、切り替えてもらいたい。
- ◆子どもが小さいので、仕事に100%情熱を注がないという認識がある。でも、長い目で見て焦らないようにしたい。

Q.

2人目、3人目を阻む壁とは?



「無責任な約束はできない」。木村てつやも、真剣に向き合います。



きむてつレポート次号テーマは「都市づくり」です。お楽しみに!



子どもたちに夢を、
働く世代に力と希望を、
高齢者に生涯現役の社会を！

日本の未来は あなたの未来。

木村てつやと一緒に考えよう！

36年に渡る、母の在宅介護。 その経験が、政治を志すきっかけに。

私が10歳の時、母が脳卒中で倒れました。以来、36年に渡り、母の車いすを押しながら、自宅で介護をしてきました。当時は、今のような介護環境はなかった時代。身近に介護施設がないことや、社会で支える制度がないことに疑問を覚え、政治の道を志すようになりました。

「自分が身を切る政治をせねば」。 決意を固めた28歳の春。

私が28歳の時、とある国会議員の講演会に出席し、「若者が夢や希望を持ち、活力ある社会を築いて行けるように、政治はビジョンを発信すべきじゃないか」と問いかけてきました。返ってきたのは、「若者にいくら投資しても票にならない」という厳しいご意見でした。「自分が身を切る政治をせねば」。決意を固めた瞬間でした。

将来の安定なくして今日の幸せなし！

市議会で3期12年、県議会で1期4年務め、その後衆議院浪人となりましたが、この1年4ヶ月で多くの方々にお声をかけていただき、「未来予想図」を示すことこそ政治の役割であると実感いたしました。

将来の安定なくして、今日の幸せはありません。未来の子どもたちが夢を育め、働く世代に力と希望を、高齢者には生涯現役の社会を実現し、「誇れる日本」を取り戻す政治に全力で取り組みます。

木村てつやのプロフィール

昭和44年／船橋市行田町生。西船幼稚園、塚田小、千葉日本大学第一中、千葉敬愛高、千葉工業大学工業経営学科卒、中央工学校建築設計科(建築専門学校)卒、法政大学大学院 政策科学研究科修士課程修了

- 平成11年 船橋市議会議員選挙(29歳)初当選～3期連続当選
- 平成23年 千葉県議会議員選挙(41歳)初当選
- 平成26年 衆議院議員選挙(45歳)初出馬 次点

座右の銘:「志あれば意これなる」

趣味:富士登山、読書、自転車、旅行、そば屋巡り、野球、スキー

所属: [法政大学大学院 政策科学研究所 特任研究員]
[日本地方政治学会 理事] [日本政治学会 会員]
[船橋市テニス協会 会長]
[船橋市グラウンドゴルフ協会 会長]
[船橋市バドミントン協会 会長]
[少年野球 顧問] [空手道 顧問・相談役]
[船橋市柔道連盟 顧問] など

フェイスブックで、木村てつやの最新の活動を掲載しています。ぜひご覧ください。



木村てつや

検索

木村てつや
フェイスブック
更新中!